



国家試験

令和8年度前期

技能検定受検案内

(技能五輪・技能競技大会参加案内)

令和8年度前期技能検定実施日程

受検申請	受付期間 令和8年4月6日(月)～ 令和8年4月17日(金)	持参の場合：午前9時～午後4時（午後12時～1時を除く）（土日祝を除く） 郵送の場合：簡易書留郵便により郵送すること（最終日の消印分まで有効） 詳しくは冊子内「受検申請の手続き」をご覧ください
実技試験問題公表	公表日 令和8年6月3日(水)	当協会でご公表し、6月中に受検者あて（受検者の住所あて）に送付します。 一部の職種（作業）については実技試験問題概要を送付します。
実技試験	実技試験実施期間 ★金属熱処理を除く3級職種 令和8年6月10日(水)～令和8年8月9日(日) <input type="checkbox"/> 造園工事・とび作業 1・2級（製作等作業試験） 令和8年9月10日(木)～令和8年11月11日(水) <input type="checkbox"/> 上記以外 令和8年6月10日(水)～令和8年9月9日(水)	受検票による試験会場・試験日等の通知 6月末までに受検者あて（受検者の住所あて）に送付します。 （6月末に受検票が届いていない場合は、当協会へお知らせ下さい。）
学科試験	学科試験日程 令和8年7月12日(日)★ 令和8年8月23日(日) 令和8年8月30日(日) 令和8年9月6日(日)	学科試験日は職種（作業）ごとに指定されております。 冊子内の「実施職種一覧」をご確認下さい。
合格発表	★金属熱処理を除く3級職種 令和8年8月28日(金) <input type="checkbox"/> 造園工事・とび作業 1・2級 令和8年11月6日(金) <input type="checkbox"/> 上記以外 令和8年10月2日(金)	可否結果の通知 受検者あて（受検者の住所あて）に送付します。 ホームページ掲載 滋賀県公報(両方合格者のみ)及び当協会ホームページ(両方合格者、実技のみ合格者、学科のみ合格者)に各該当者の受検番号を掲載します。 ※電話でのお問い合わせにはお答えできません。

目次

★実施日程……………P1	★必要な実務経験年数一覧（表2）……………P18
★技能検定制度・合格発表……………P2	★免除資格一覧（表3）……………P19
★お知らせ（変更点等）……………P2	★技能検定職種に関する学科一覧（表4）……………P20
★受検申請の手続き……………P3～7	★学科試験免除に係る訓練科一覧（表5）……………P21
★実施公示職種一覧（表1）……………P8～13	★年齢早見表（表6）……………P22
★技能五輪滋賀県大会……………P14	★技能検定 一括申請内訳書……………P23
★申請書記入時の注意事項、記入例……………P15～17	★受検申請書交付先……………P24

技能検定制度

技能検定制度等	<p>◎技能検定……技能検定は、職業能力開発促進法に基づいて、働く人達の持っている職業に必要な技能を、一定の基準によって検定し、公証する国家検定制度です。</p> <p>技能検定は厚生労働大臣の委任を受けて都道府県知事が行うものですが、受検申請書の受付、試験の実施等の業務は滋賀県知事の委任を受けて滋賀県職業能力開発協会が実施します。</p> <p>この検定は、特級・1級・2級・3級に区分する職種と、等級を区分しない単一等級の職種があり、職種ごとに実技試験と学科試験を行います。</p> <p>特級・1級および単一等級の合格者には厚生労働大臣から、2級および3級の合格者には滋賀県知事から、合格証書および技能士章が交付され、技能士と称することができます。</p>
	<p>◎滋賀県技能競技大会……技能検定受検者または技能五輪滋賀県大会参加者は、滋賀県技能競技大会に自動的に参加することになり、成績優秀者は滋賀県知事および滋賀県職業能力開発協会長から表彰されます。(県内在住または県内に勤務している方に限る。)</p>

合格発表等

合格の発表 および 合格の通知等	<p>◎合格発表……技能検定の合格者については、3級（金属熱処理を除く）は令和8年8月28日（金）に、造園工事・とび作業 1・2級は令和8年11月6日（金）に、その他は令和8年10月2日（金）に、合格者の受検番号を滋賀県公報に掲載し、また、滋賀県職業能力開発協会のホームページにも掲載します。併せて、同日発送で受検者に対し結果通知を郵送します。</p>
	<p>◎合否結果については以下のとおり通知します。</p> <p>① 技能検定合格通知……滋賀県からの通知</p> <p>② 実技試験または学科試験のいずれか片方に合格された場合……滋賀県職業能力開発協会からの通知</p> <p>* <u>一部合格通知があった場合の「合格通知書」は、今後、技能検定を受検される際に免除を証明する書類となりますので大切に保管して下さい。</u></p> <p>③ 不合格の方……滋賀県職業能力開発協会からの通知</p>
	<p>◎技能検定合格証書等の交付……技能検定合格者には、滋賀県から合格証書および技能士章が交付されます。<u>なお、交付日については合格通知とともに県よりお知らせ</u>します。</p>
	<p>◎試験結果の開示……合格発表日を含め1ヵ月間（土、日および祝日を除く）に限り、滋賀県商工観光労働部労働雇用政策課において受検者本人へ直接開示し、試験別の得点を知ることができます。</p>

お知らせ

変更点	<p>★手数料減額措置の適応範囲が変更されています。</p> <p>令和8年度の減額の適用については下記の内容となっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技能検定3級の実技試験を受検する23歳未満の者。 <p>注) 令和6年度より技能検定2級の減免は廃止になりました。</p> <p>手数料の詳細は、P5～7でご確認下さい。</p>
注意点	<p>◎関係法令等……令和8年度（前期）技能検定学科試験における関係法令、JIS等の各種規格等の記載に基づく出題については、原則として、令和7年10月1日時点で施行されている内容に基づくものとします。ただし、職種（作業）ごとに、実作業の現場における普及状況等を勘案し、一般的に使用されている従前の施行内容に基づく場合もあります。</p>
	<p>◎受検手数料は振込みのみ……窓口、郵送に係わらず全て振込みとなります。</p> <p>窓口であっても現金での支払い対応はできません。</p> <p>振込みが確認できる明細等の写しを申請書に必ず貼付して提出して下さい。</p> <p>複数名の手数料を一括して納付、申請する場合は、技能検定一括申請内訳書を必ず添付して下さい。</p>
	<p>◎本人確認書類……<u>受検申請される全ての方に、本人確認書類（運転免許証の写し等）を必ず添付</u>いただきます。本人確認書類の提出がない場合は、受検申請を受付けできません。</p>

受検申請の手続

<p>申請の流れ</p>	<p>① 技能検定受検申請書の入手 ◎滋賀県職業能力開発協会のホームページにてダウンロードした申請書のみの受付になります。 ・詳細は滋賀県職業能力開発協会のホームページを確認して下さい。</p> <p>② 申請書の記入および受検手数料の確認・振込 記入方法はP15～17を、受検手数料はP5～7を確認して下さい。</p> <p>③ 必要書類の準備 ・本人確認書類（写し）、写真 ・免除資格証明書類（写し）（該当者のみ）、合格証書等（写し）（該当者のみ） ・振込確認書類の写し、技能検定一括申請内訳書（該当者のみ） ・その他、若年者減免の関係で必要な書類</p> <p>④ 申請書の提出</p>
<p>提出書類</p>	<p>◎技能検定受検申請書 受検申請は各級別の申請用紙に記入し提出して下さい。（P16～17の記入例を参照して下さい。） 受検申請書は下記の方法で入手できます。</p> <p>① 滋賀県職業能力開発協会ホームページから申請書をダウンロードして下さい。 ② 申請書のダウンロードが困難な方は、当協会へお問い合わせ下さい。 ※2作業以上の受検申請をされる方は、作業ごとに申請書を提出して下さい。2作業以上の場合、試験日が重なり試験が受けられなくなった場合でも、受検手数料はお返しできませんので十分にご注意下さい。</p> <p>◎本人確認書類（写し） ※本人確認書類の提出がない場合は、受検申請受けできません。 <u>下記のいずれかの書類の写し等を申請書に貼り付けて下さい。</u></p> <p>① 運転免許証、個人番号カード（個人番号が記載されている箇所は黒塗りすること）その他の日本官公庁が発行した身分証明書（氏名及び生年月日が確認できるものに限る。） ② 特別永住者証明書、在留カード ③ 健康保険資格確認書（健康保険被保険者証は「今年度より」不可） ④ 生徒手帳、学生証（氏名及び生年月日が確認できるものに限る。） ⑤ 外国政府が発行した旅券（写真欄及び日本国査証欄）</p> <p>◎写真 6ヵ月以内に撮影した縦4cm横3cm程度の正面脱帽、上上半身の写真を申請書に貼り付けて下さい。実技、学科両方受検の場合は2枚必要です。</p> <p>◎免除資格証明書類（写し）（該当者のみ） 実技試験または学科試験の免除を受けようとする場合は、その免除資格を証明する書類を添付して下さい。申請時に証明書類の提示がない場合は免除の取り扱いはできません。申請後の変更もできません。</p> <p>◎合格証書等（写し）（該当者のみ） P18★印の受検資格で申込される場合は※10の必要書類の写しを添付して下さい。</p> <p>◎振込確認書類の写し 受検申請書の「振込確認ができる書類 貼付欄」に振込明細等の振込日時・振込名・振込金額が、分かるものを必ず貼付して下さい。複数名一括振込の場合は技能検定一括申請内訳書に貼付して下さい。（下記参照）なお、明細の原本を提出した場合であっても返却はできません。</p> <p>◎技能検定一括申請内訳書（該当者のみ） 複数名の受検手数料を一括で振込される場合は必ず技能検定一括申請内訳書（P23ページ）を併せて提出して下さい。</p> <p>◎若年者減免の関係で必要な書類 受検手数料減免の適用範囲変更の関係で、必要な提出書類が追加される場合があります。必要な書類を確認して下さい。P7をご確認下さい。</p>
<p>受検申請書提出方法</p>	<p>◎提出方法 ① 郵送…簡易書留にて、封筒の表面に「技能検定受検申請書在中」と朱書きして下さい。受付期間最終日の消印のあるものまで受付します。 ② 持参…滋賀県職業能力開発協会に受付窓口へ提出して下さい。土日祝日を除く受付期間の午前9時～午後4時まで。（午後12時～午後1時を除く）</p> <p>◎提出先 滋賀県職業能力開発協会 〒520-0865 滋賀県大津市南郷五丁目2-14 TEL：077-533-0850</p> <p>◎受付期間 令和8年4月6日(月)～令和8年4月17日(金)(当日消印有効)</p>

受検手数料
振込口座

振込先(いずれかの口座に振込んで下さい)

1. 銀行名：関西みらい銀行 支店名：南郷支店

口座名義：シガケンシヨクキョウノウリョクカイハツキョウカイ 口座番号：普通 340405

2. 銀行名：滋賀銀行 支店名：南郷支店

口座名義：シガケンシヨクキョウノウリョクカイハツキョウカイ 口座番号：普通 590028

◎振込時の注意点(手数料振込明細等についてはP5ページをご確認下さい)

- ① 振込手数料は受検申請者の負担となります。
- ② 申請受付後は、申請を取り消した場合や試験を受けなかった場合でも受検手数料は返金いたしません。
(滋賀県使用料および手数料条例第6条の定めによる)
- ③ 振込時に発行される利用明細等を領収書の発行に代えさせていただきます。
- ④ 手数料を多く振込んだ場合は振込で返金いたしますが、振込手数料を差し引いた額を返金いたします。お間違えのないように気を付けて下さい。なお、返金時期は受付期間以降になります。
- ⑤ 一括の振込を行う企業等で、振込前に手数料の通知が必要な場合はご連絡下さい。

よくある質問

Q. 受検申請書の記入を間違った場合、どうすればいいのでしょうか。

A. 二重線を引き訂正いただいて結構です。修正テープ及び修正ペンは不可。

Q. 過去に実技試験又は学科試験のいずれか一方に合格しているが、有効期限はありますか。

A. 特級は合格発表日から5年の有効期限ですが、その他の級には有効期限はありません。

Q. 実技試験を過去に合格し、学科試験も免除になっているのですが技能検定合格となるにはどのような手続きが必要ですか。

A. 実技試験、学科試験とも免除を受けることが出来る方(両方免除)は技能検定合格の対象ですが、改めて技能検定受検申請が必要です。申請方法は他の受検申請と同様ですが受検手数料はかかりません。全職種(作業)が前期・後期の受付期間であればどちらでも受付可能です。

Q. 講習会は実施していますか。

A. 当協会では実施していません。
実施団体として主催講座を開催することは、検定の公正な実施の妨げになる可能性があるため、当協会では実施しません。一部職種(作業)では業界団体等で実施している職種もあります。

Q. 実技試験や学科試験はどのような試験ですか。

A. 中央職業能力開発協会のホームページに全職種の概要が掲載されていますのでご確認ください。
中央職業能力開発協会HOME > 能力評価試験 > 技能検定 > 実施職種・試験概要(実技試験及び学科試験)
(https://www.javada.or.jp/jigyoku/gino/giken/giken_jisshi_itiran.html)

Q. 試験日、試験会場は決まっていますか。

A. 学科試験日は実施予定職種の受検案内の表に予定日を掲載しています。また、試験会場は申請時には決まっていません。受検票に記載して通知いたします。
実技試験については日程、会場とも申請受付時には決まっていません。決定後受検票に記載して通知いたします。※前期：6月中に発送予定です。

Q. 受検票が届き試験日程を確認したが、都合が悪くて出席できない。試験日程の変更は可能ですか。

A. 試験日程の変更はできません。試験当日に来られない場合は欠席として取り扱います。なお、実技試験について出席できない場合は、準備の都合がありますので、当協会までご連絡下さい。

Q. 受検申請をしたがキャンセルしたい。受検手数料は返金してもらえますか。

A. 受検申請の受付が完了した受検手数料は受検者側の理由が如何なる事由があっても返金できません。また、次回に繰り越すこともできません。(災害や当協会の都合で中止となる場合は別途対応いたします。)

Q. 受検手数料は課税対象ですか。

A. 受検手数料は非課税です。振込手数料は課税対象です。

その他にも当協会ホームページ「よくある質問」に掲載しておりますので、ご確認ください。

滋賀県職業能力開発協会 (<https://shiga-nokaikyo.or.jp/>)

- ・申請書等送付申込書がダウンロードできます。
- ・一括申請内訳書がダウンロードできます。



滋賀県職業能力開発協会
ホームページ

手数料振込明細等の注意事項

1. 個別振込、一括振込による提出方法の違いについて

- ① 個別で手数料を振込む場合 利用明細等を申請書の貼付欄に貼付して下さい。
- ② 複数名の申請書を一括で振込む場合 利用明細等をP23の一括申請内訳書に貼付し、提出して下さい。

2. 貼付する利用明細等

- ① 窓口やATMから振込んだ場合は
利用明細のコピーを貼付

ご利用明細 (例)			
毎度ありがとうございます。 お取引内容をお確かめのうえ、 お持ち帰りください。			
×××銀行		×××銀行	
取引銀行	取引店	口座番号	
××××	××××	××××××××	
取扱店	お取引日	時刻	
××××	02-10-××	××:××	
お取引内容	お取引金額	手数料	
振込	¥0,000,000	¥660	
お取引後の残高 (円)			
お受取人	関西みらい銀行 南郷支店 普通 340405 シガケンシヨクキョウノリョウカ イハツキョウカイ		
ご依頼人	シヨクノタロウ		

- ② インターネットバンキングから振込んだ場合は
振込明細照会等の画面を印刷し貼付

振込明細照会					
日付	受付番号	お振込先口座	取引金額	お受取人名	ご依頼人名
02-10-××	-----	関西みらい銀行 南郷支店 普通 340405	00000円	シガケンシヨク キョウノリョウカ イハツキョウカイ	シヨクノタロウ

下記が分かるものを準備して下さい。

- ・振込日時
- ・振込先
- ・振込金額
- ・振込人名 (受検者名と異なっても可能。)

受検手数料の金額

学科のみ受検の場合： 学科試験手数料 3,100円

実技のみ受検の場合： 実技試験手数料

実技・学科とも受検の場合： 学科試験手数料 3,100円 + 実技試験手数料

注：受検手数料に加えて振込手数料も必要になります。振込手数料は金融機関ごとに異なります。

実技試験手数料 は下記フローチャートで確認して下さい。

1級・2級・五輪・単一等級

婦人子供注文服製作	15,100円
それ以外の職種(作業)	18,200円

受検手数料の金額

学科のみ受検の場合： 学科試験手数料 3,100円

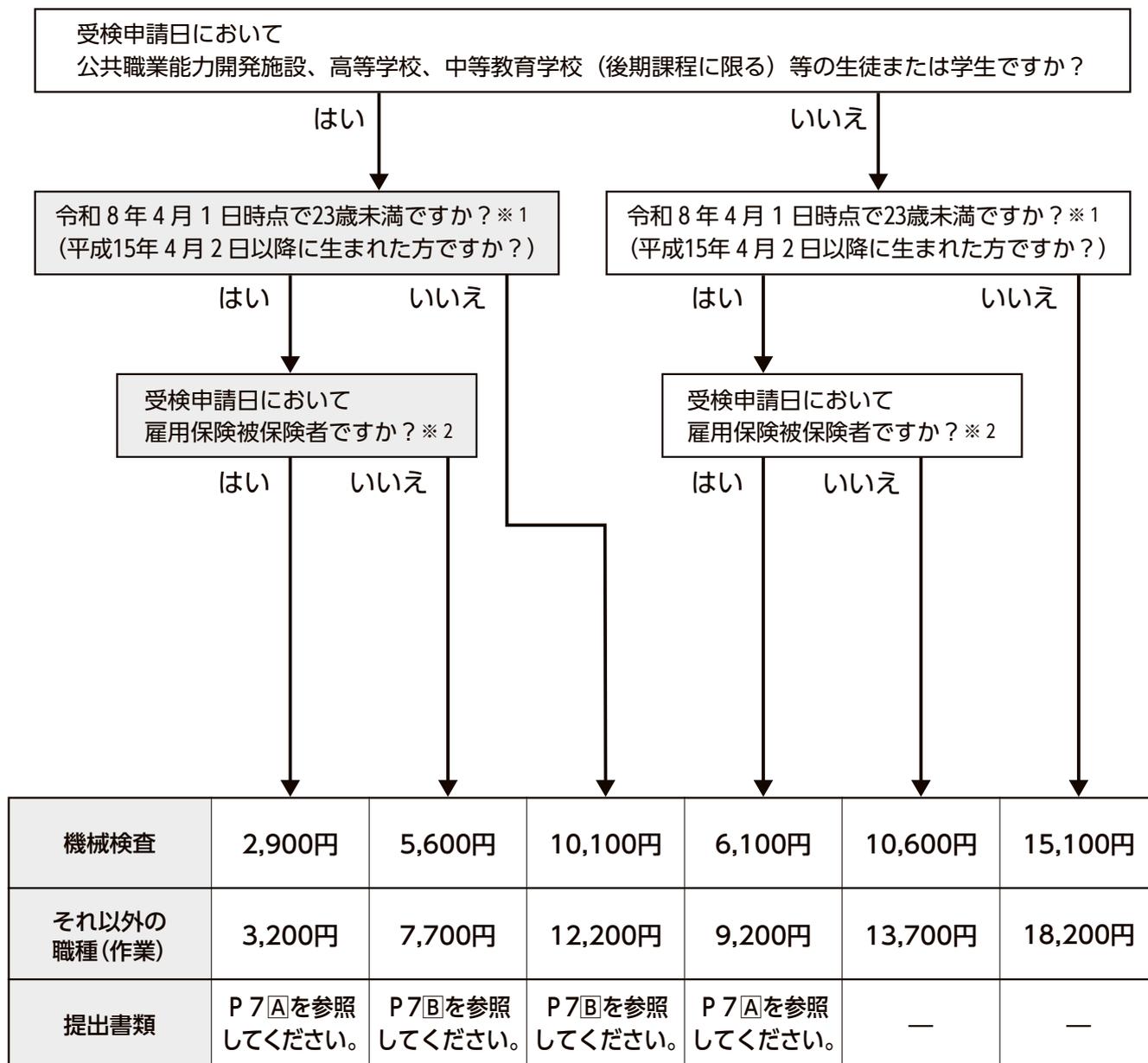
実技のみ受検の場合： 実技試験手数料

実技・学科とも受検の場合： 学科試験手数料 3,100円 + 実技試験手数料

注：受検手数料に加えて振込手数料も必要になります。振込手数料は金融機関ごとに異なります。

実技試験手数料 は次のフローチャートで確認して下さい。

3級



※1 23歳未満であっても出入国管理及び難民認定法 別表第一の上欄の在留資格をもって在留する方は除きます。(例：留学、研修、技能実習、特定技能、建設就労、企業内転勤等)

※2 雇用保険被保険者とは雇用保険法(昭和49年法律第116号)第4条第1項に規定する被保険者をいいます。

※3 高等学校の学生とは全日制・定時制・通信制の学生が該当します。

提出書類

1. **A**の方

受検申請日において、雇用保険被保険者であることを証する書類が必要となります。次のいずれかの書類を提出して下さい。

- (1) 雇用保険被保険者であることが記載されている在職証明書（任意様式可）
別紙「**在職証明書(例)**」をご確認下さい。
 - (2) 事業主が保管する雇用保険被保険者証のコピー
 - (3) ハローワークが発行する雇用保険被保険者資格取得届出確認照会回答書
 - (4) 受検申請月の給与明細書のコピー
(受検申請時において、当該月の給与明細書のコピーが提出できない場合は、書類の準備が整い次第、追加で提出すること。)
- (例) 令和8年4月15日に申請する場合、令和8年4月分の給与明細書の写しを提出
また、給与明細は申請者が**雇用保険被保険者に該当することを確認するため、氏名および雇用保険料以外の箇所は黒塗りで構いません。**

注：雇用保険の被保険者かつ学生でもある場合は、上記に加えて学生であることを証する書類も提出して下さい。

雇用保険被保険者の確認書類は、できるだけ給与明細以外の書類でお願いします。

技能検定受付期間締め切り日（4月17日）までに、4月分の給与明細書を提出できない場合は、4月分の給与明細書がお手元に届き次第、早急に提出いただく必要があります。

なお、5月31日までに、給与明細書を御提出いただけない場合は、減額の対象外となりますのでご注意ください。期日までに提出いただいた場合でも、事務局確認の結果、減額対象外となる可能性があることをご承知願います。減額の対象外となった場合は、追加分の納付について、別途ご連絡させていただきます。

2. **B**の方

受検申請日において、高等学校（全日制・定時制・通信制）、又は公共職業能力開発施設の学生であることを証する書類が必要となります。

下記のような書類を提出して下さい。

例：学生証コピー、生徒手帳コピー

なお、本人確認書類として学生証等を貼付している場合は、追加で提出する必要はありません。

表1

令和8年度前期技能検定実施予定職種一覧

【1・2級（33職種54作業）】

検 定 職 種	職 種 番 号	選 択 作 業 名	作 業 番 号	実 技 試 験 日			学 科 試 験 日	特 記
				製 作 等 作 業 試 験	判 断 等 試 験	計 画 立 案 等 作 業 試 験		
園芸装飾	103	室内園芸装飾	010	受検票で通知する日	—	—	9 / 6 (9 : 30)	
造園	062	造園工事	010	受検票で通知する日	受検票で通知する日	—	8 / 23 (9 : 30)	
鑄造	003	鑄鉄鑄物鑄造	010	受検票で通知する日	—	—	9 / 6 (9 : 30)	
金属熱処理	005	一般熱処理	010	受検票で通知する日 (1級)	8 / 30 (2級)	8 / 23 (12 : 45)	8 / 23 (9 : 30)	
		浸炭・浸炭窒化・窒化处理	020	受検票で通知する日 (1級)	8 / 30 (2級)	8 / 23 (12 : 45)	8 / 23 (9 : 30)	
		高周波・炎熱処理	030	受検票で通知する日 (1級)	8 / 30 (2級)	8 / 23 (12 : 45)	8 / 23 (9 : 30)	
機械加工	006	普通旋盤	010	受検票で通知する日	—	—	8 / 30 (9 : 30)	
		数値制御旋盤	200	受検票で通知する日	—	8 / 30 (12 : 45)	8 / 30 (9 : 30)	
		フライス盤	040	受検票で通知する日	—	—	8 / 30 (9 : 30)	
		数値制御フライス盤	210	受検票で通知する日	—	8 / 30 (12 : 45)	8 / 30 (9 : 30)	
		平面研削盤	120	受検票で通知する日	—	—	8 / 30 (9 : 30)	
		円筒研削盤	130	受検票で通知する日	—	—	8 / 30 (9 : 30)	
		ホブ盤	150	受検票で通知する日	—	—	8 / 30 (9 : 30)	
		マシニングセンタ	230	—	受検票で通知する日	8 / 30 (12 : 45)	8 / 30 (9 : 30)	
非接触除去加工	183	数値制御彫り放電加工	020	受検票で通知する日	—	9 / 6 (12 : 45) 1級のみ	9 / 6 (9 : 30)	
		ワイヤ放電加工	030	受検票で通知する日	—	9 / 6 (12 : 45) 1級のみ	9 / 6 (9 : 30)	
		レーザー加工	040	受検票で通知する日	—	—	9 / 6 (9 : 30)	
金属プレス加工	007	金属プレス	010	受検票で通知する日	—	8 / 23 (12 : 45)	8 / 23 (9 : 30)	注1
鉄工	008	製缶	010	受検票で通知する日	—	—	8 / 30 (9 : 30)	注1
		構造物鉄工	020	受検票で通知する日	—	—	8 / 30 (9 : 30)	注1

検 定 職 種	職 種 番 号	選 択 作 業 名	作 業 番 号	実技試験日			学 科 試 験 日	特 記
				製 作 等 作 業 試 験	判 断 等 試 験	計 画 立 案 等 作 業 試 験		
建築板金	122	内外装板金	010	受検票で通知する日	—	—	9 / 6 (12:45)	
		ダクト板金	020	受検票で通知する日	—	—	9 / 6 (12:45)	
工場板金	123	曲げ板金	010	受検票で通知する日	—	—	9 / 6 (12:45)	注1
		打出し板金	020	受検票で通知する日	—	—	9 / 6 (12:45)	注1
仕上げ	012	治工具仕上げ	010	受検票で通知する日	—	—	9 / 6 (9:30)	
		金型仕上げ	020	受検票で通知する日	—	—	9 / 6 (9:30)	
		機械組立仕上げ	030	受検票で通知する日	—	—	9 / 6 (9:30)	
切削工具研削	146	工作機械用切削工具研削	010	受検票で通知する日	—	—	9 / 6 (12:45)	注1
ダイカスト	014	コールドチャンバダイカスト	020	受検票で通知する日	—	8 / 30 (12:45)	8 / 30 (9:30)	注1
電子機器組立て	015	電子機器組立て	010	受検票で通知する日	—	—	8 / 30 (12:45)	
電気機器組立て	016	配電盤・制御盤組立て	030	受検票で通知する日	—	—	9 / 6 (9:30)	
建設機械整備	068	建設機械整備	010	受検票で通知する日	—	8 / 30 (12:45)	8 / 30 (9:30)	注1
婦人子供服製造	025	婦人子供注文服製作	010	受検票で通知する日	—	—	8 / 30 (12:45)	
建具製作	125	木製建具手加工	010	受検票で通知する日	—	—	8 / 30 (12:45)	
印刷	035	オフセット印刷	020	受検票で通知する日	—	—	8 / 30 (12:45)	
プラスチック成形	037	射出成形	020	受検票で通知する日	—	—	8 / 23 (12:45)	注2
		真空成形	040	—	9 / 6	9 / 6 (9:30)	8 / 23 (12:45)	
強化プラスチック成形	098	手積み積層成形	010	受検票で通知する日	—	—	9 / 6 (12:45)	
石材施工	150	石張り	020	受検票で通知する日	—	—	9 / 6 (9:30)	
		石積み	030	受検票で通知する日	—	—	9 / 6 (9:30)	
とび	040	とび	010	受検票で通知する日	—	—	8 / 23 (12:45)	
左官	041	左官	010	受検票で通知する日	—	—	8 / 30 (12:45)	

検 定 職 種	職 種 番 号	選 択 作 業 名	作 業 番 号	実技試験日			学 科 試験日	特 記
				製 作 等 作 業 試 験	判 断 等 試 験	計 画 立 案 等 作 業 試 験		
タイル張り	044	タイル張り	010	受検票で通知する日	—	—	9 / 6 (9 : 30)	
畳製作	045	畳製作	010	受検票で通知する日	—	—	8 / 30 (12 : 45)	
防水施工	086	アクリルゴム系塗膜防水工事	030	受検票で通知する日	—	—	8 / 23 (12 : 45)	
		シーリング防水工事	070	受検票で通知する日	—	—	8 / 23 (12 : 45)	
内装仕上げ施工	152	プラスチック系床仕上げ工事	010	受検票で通知する日	—	—	8 / 30 (9 : 30)	
		化粧フィルム工事	070	受検票で通知する日	—	—	8 / 30 (9 : 30)	
熱絶縁施工	049	保温保冷工事	010	受検票で通知する日	—	—	9 / 6 (9 : 30)	
化学分析	056	化学分析	010	8 / 30	—	8 / 23 (12 : 45) 1級のみ	8 / 23 (9 : 30)	
表装	059	壁装	020	受検票で通知する日	—	—	9 / 6 (9 : 30)	
塗装	060	建築塗装	020	受検票で通知する日	—	—	8 / 23 (9 : 30)	
		金属塗装	030	受検票で通知する日	—	—	8 / 23 (9 : 30)	
フラワー装飾	119	フラワー装飾	010	受検票で通知する日	—	—	9 / 6 (12 : 45)	

【単一等級（1職種1作業）】

検 定 職 種	職 種 番 号	選 択 作 業 名	作 業 番 号	実技試験日			学 科 試験日	特 記
				製 作 等 作 業 試 験	判 断 等 試 験	計 画 立 案 等 作 業 試 験		
産業洗浄	159	高圧洗浄	010	受検票で通知する日	—	8 / 23 (12 : 45)	8 / 23 (9 : 30)	注 3

【3級（9職種15作業）】

検 定 職 種	職 種 番 号	選 択 作 業 名	作 業 番 号	実 技 試 験 日			学 科 試 験 日	特 記
				製 作 等 作 業 試 験	判 断 等 試 験	計 画 立 案 等 作 業 試 験		
園芸装飾	103	室内園芸装飾	010	受検票で通知する日	—	—	7/12 (10:00)	
造園	062	造園工事	010	受検票で通知する日	受検票で通知する日	—	7/12 (12:45)	
金属熱処理	005	一般熱処理	010	—	8/30	8/23 (12:45)	8/23 (9:30)	
		浸炭・浸炭窒化・窒化处理	020	—	8/30	8/23 (12:45)	8/23 (9:30)	
		高周波・炎熱処理	030	—	8/30	8/23 (12:45)	8/23 (9:30)	
機械加工	006	普通旋盤	010	受検票で通知する日	—	—	7/12 (10:00)	
		数値制御旋盤	200	受検票で通知する日	—	—	7/12 (10:00)	
		フライス盤	040	受検票で通知する日	—	—	7/12 (10:00)	
		平面研削盤	120	受検票で通知する日	—	—	7/12 (10:00)	
		マシニングセンタ	230	受検票で通知する日	—	—	7/12 (10:00)	
仕上げ	012	機械組立仕上げ	030	受検票で通知する日	—	—	7/12 (12:45)	
機械検査	013	機械検査	010	受検票で通知する日	—	—	7/12 (12:45)	
電子機器組立て	015	電子機器組立て	010	受検票で通知する日	—	—	7/12 (10:00)	
建築大工	038	大工工事	010	受検票で通知する日	—	—	7/12 (12:45)	
フラワー装飾	119	フラワー装飾	010	受検票で通知する日	—	—	7/12 (12:45)	

※注1 下記、職種（作業）の実技試験を受ける方は、労働安全衛生法に基づく免許や証明書等が必要です。

種（作業）名	等級	該当内容	試験当日の対応
金属プレス加工 （金属プレス作業）	1級	動力プレスの金型取 付け等	特別教育受講修了証等の確認又は自己申告 書への署名
	2級		
鉄工（製缶作業）	1級	ガス溶接	ガス溶接作業主任者免許証、ガス溶接技能 講習修了証等の資格証の確認
		アーク溶接	特別教育受講修了証等の確認又は自己申告 書への署名
	2級	アーク溶接	特別教育受講修了証等の確認又は自己申告 書への署名
鉄工（構造物鉄工作業）	1級	ガス溶接	ガス溶接作業主任者免許証、ガス溶接技能 講習修了証等の資格証の確認
	2級	アーク溶接	特別教育受講修了証等の確認又は自己申告 書への署名
工場板金（曲げ板金作業）	1級	ガス溶接	ガス溶接作業主任者免許証、ガス溶接技能 講習修了証等の資格証等の確認
	2級		
工場板金（打出し板金作業）	1級	ガス溶接	ガス溶接作業主任者免許証、ガス溶接技能 講習修了証等の資格証等の確認
	2級		
切削工具研削 （工作機械用切削工具研削作業）	1級	研削といしの取替え	特別教育受講修了証等の確認又は自己申告 書への署名
	2級		
ダイカスト （コールドチャンバダイカスト作業）	1級	玉掛け作業	技能講習受講修了証等の資格証等の確認又 は特別教育受講修了証等の確認若しくは自 己申告書への署名
		クレーン運転	特別教育受講修了証等の確認又は自己申告 書への署名
建設機械整備 （建設機械整備作業）	1級	ガス溶接	ガス溶接作業主任者免許証、ガス溶接技能 講習修了証等の資格証等の確認
	2級		

※注2

射出成形作業の実技試験で使用する成形機は下記のメーカー、型式の機械で試験を実施します。
事前に性能等の確認をお願いします。
メーカー：日精樹脂工業(株)
型 式：NEX80IV-12EG

※注3

高圧洗浄作業の実技（製作等作業試験）は、兵庫県三田市において実施いたします。実施会場の上限によ
り県内在住または県内在勤であったとしても、受検をお断りする場合があります。
お断りする場合は、申請月中に連絡いたします。

実技試験における受付人数の制限

1. 職種（作業）によっては会場や施設・設備の関係で、受検者数を制限することがあります。
受検者数の超過となる場合は県内の方（在住または勤務）を優先し受付させていただきます。
2. 県外申請者の受付可否の判断は受付期間終了後になります。
受検をお断りする場合は受検申請月中に連絡いたします。
3. 受検申請の受付ができない方については、受付期間後に返金いたします。
他県での受検手配は行いませんので予めご了承下さい。
4. 県内の方であっても、受検者が極めて少ない場合は、実施を取りやめる場合があります。
5. 実技試験については他都道府県での試験振替え等を行いません。

所属事業所等の施設・設備で実技試験を実施する職種・条件

「原則として受検者所属事業所で試験を実施する職種」や「受検者数等の条件により、希望があれば受検者所属事業所で試験を実施する職種」があります。

設備等条件が満たせない場合は受付できませんのでご注意ください。ご不明な点は当協会にお問い合わせ下さい。

原則所属事業所実施の職種

職 種（作業）		条 件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 鋳鉄鋳物鋳造 ・ 数値制御旋盤 ・ 数値制御フライス盤 ・ 平面研削盤 ・ 円筒研削盤 ・ ホブ盤 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数値制御形彫り放電加工 ・ ワイヤ放電加工 ・ レーザー加工 ・ 工作機械用切削工具研削 ・ コールドチャンバダイカスト ・ 木製建具手加工 ・ オフセット印刷 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用する設備、道具、材料が準備できること（※1） ・ 試験前準備、当日試験補助ができる係員を選出できること（※2） ・ 試験実施期間内に実施できること

条件により所属事業所実施が可能な職種

職 種（作業）	条 件
普通旋盤 フライス盤	使用する設備、道具、材料が準備できること（※1） 試験前準備、当日試験補助ができる係員を選出できること（※2） 試験実施期間内に実施できること 1会場につき5人以上であること。（※3）

- ※1 今年度の問題公表後に実技試験問題等の内容をお知らせしますので、内容をご確認下さい。
事前に確認されたい場合は中央職業能力開発協会のホームページで前年度の問題をご確認下さい。
中央職業能力開発協会 (<https://www.javada.or.jp/index.html>)
(技能検定 → 技能検定試験問題公開サイト)
職種によっては当協会では準備する道具等がありますが、個別に連絡いたします。
- ※2 施設の開錠、設備の準備・立ち上げ、設備トラブル発生時の対応、試験実施の補助等の対応を担当していただきます。
- ※3 条件によっては対応できない場合がありますので、ご不明な点をご相談下さい。

技能五輪滋賀県大会の実施

1. 技能五輪全国大会

技能五輪全国大会は、国内の青年技能者を対象に、技能競技を通じ、青年技能者に努力目標を与えるとともに、技能に身近に触れる機会を提供するなど、広く国民一般に対して技能の重要性や必要性を知らせ、技能尊重気運の醸成に資することを目的として実施する大会です。

2. 技能五輪滋賀県大会

この大会は、技能五輪全国大会に派遣する選手を選抜するための滋賀県予選として行うもので、優秀な成績を収めた方は、県代表として全国大会に推薦します。

大会は、技能検定の実技試験と同時に実施されます。(技能五輪単独職種は個別に実施)

検定対応職種において一定水準以上の成績をおさめた方には技能証が交付されます。技能証は今後の申請で2級の実技試験が免除される証明書類として使用できます。

3. 滋賀県大会競技職種、参加料

対応する 技能検定職種名	対応する 技能検定作業名	職種 番号	作業 番号	実技試験形式・日程			技能五輪 全国大会 競技職種	技能五輪 滋賀県大会 参加料	特記
				製作等作業試験	判断等 試験	計画立案等 作業試験			
仕上げ	機械組立て仕上げ	012	030	受検票で通知する日	—	—	機械組立て	P5のフロー チャートをご 確認下さい。	
機械加工	普通旋盤	006	010	受検票で通知する日	—	—	旋盤		
	フライス盤		040	受検票で通知する日	—	—	フライス盤		
鉄工	構造物鉄工	008	020	受検票で通知する日	—	—	構造物鉄工		12ページ 注1
タイル張り	タイル張り	044	010	受検票で通知する日	—	—	タイル張り		
工場板金	打出し板金	123	020	受検票で通知する日	—	—	自動車板金		12ページ 注1
	曲げ板金		010	受検票で通知する日	—	—	曲げ板金		
電子機器組立て	電子機器組立て	015	010	受検票で通知する日	—	—	電子機器組立て		
電気機器組立て	配電盤・制御盤組 立て	016	030	受検票で通知する日	—	—	工場電気設備		
左官	左官	041	010	受検票で通知する日	—	—	左官		
建具製作	木製建具手加工	125	010	受検票で通知する日	—	—	建具		
フラワー装飾	フラワー装飾	119	010	受検票で通知する日	—	—	フラワー装飾		
婦人子供服製造	婦人子供服注文服 製作	025	010	受検票で通知する日	—	—	洋裁		
とび	とび	040	010	受検票で通知する日	—	—	とび		

4. 参加資格

平成15年〔2003〕年1月1日以降に生まれた方（全国大会開催年に23歳以下の方）。

職歴や実務経験に関係なく参加することができます。

全国大会へ出場を希望されない場合も参加できます。(出場希望の有無を申請書で選択できます)

5. 競技課題

2級技能検定実技試験問題の課題となります。(技能五輪単独職種は個別課題)

6. 申込方法

技能検定の受検申請方法と同様です。(P3をご確認下さい)

7. 2級との併願

2級技能検定を申請し、併せて技能五輪全国大会への予選を希望される方はご連絡下さい。

8. 技能証の交付

技能五輪滋賀県大会に参加して、一定水準以上の成績を収めた方には、技能証を交付します。

令和8年10月2日(金)に滋賀県職業能力開発協会より交付します。(技能五輪単独職種は除く)

申請書記入時の注意事項

1. 記入にあたっては黒インク（ボールペン等）を使用して下さい。（消えるインクのボールペン不可）

2. 太線で囲った部分を記入して下さい。（※は記入しないで下さい）。

3. すべて楷書・算用数字で正確に記入して下さい。

4. 訂正する場合は、訂正箇所に二重線を引き、訂正して下さい。

修正テープ及び修正ペンは不可。

5. 左票

① 受検区分…該当する区分を選んで数字に○をつけて下さい。

② 検定職種・作業／職種番号・作業番号

受検案内を参考に正確に記入して下さい。

③ 氏 名…フリガナも記入して下さい。自署の場合は印鑑の必要はありません。

④ 生 年 月 日…年号に○をしてから記入して下さい。

⑤ 性 別…性別を記入して下さい。

⑥ 住 所…マンション・アパート・寮等にお住まいの方は建物名称、部屋番号も記入して下さい。

⑦ 学 歴…最終学歴を記入して下さい。ただし、各種専門学校は厚生労働大臣指定校であって、受検資格と関係する場合のみ記入して下さい。

また、高校・大学の中退・定時制および大学院卒の場合は前歴も記入して下さい。

⑧ 訓 練 歴…職業能力開発促進法に定める、普通・専門・応用課程等の職業訓練を能力開発（公共・認定）施設等で受けた場合に記入して下さい。

⑨ 職 歴…現在あるいは最新の事業所を一番上に記入し、在職期間・職務内容を必ず記入して下さい。（受検職種に関する職務内容に限る）

1つの事業所の実務経験年数で受検資格が満たない場合は、前職歴を下段に記入し、在職期間・職務内容を上記同様に記入して下さい。

記入しきれない場合は別紙に記入し裏面に貼付して下さい。

⑩ 技能検定合格状況…下位級の合格（同一職種のみ）による実務経験年数の短縮を希望する場合は記入し、合格証書のコピーを添付して下さい。

（添付が必要な例）3級合格後の実務経験0年で2級を受検される場合

実務経験が2年必要ですが0年に短縮可能です（受検案内表2参照）

⑪ 試験免除…実技・学科のいずれか片方免除または両方免除で受検申請される方は記入して下さい。（受検区分でB、C、Dの方）

該当する免除事項にチェック✓し、各証明書に記載されている必要事項を記入して下さい。

合格通知や指導員免許等のコピーが必要になります。

6. 右票

① 写 真 票……………実技・学科両方受検の方は両方の写真票の記入と写真貼付が必要です。片方受検の方は受検される方の写真票だけ記入し写真を貼付して下さい。

② 受検手数料記入欄……………受検手数料を確認し、記入して下さい。受検手数料を振込んだことが確認できる書類を貼付欄に貼付して下さい。利用明細やネットバンキングの振込完了が確認できる画面が必要。振込金額、振込者名、振込日、振込先が分かる書類を貼付して下さい。

③ 一括申請を選択の場合…複数の受検者分をまとめて振り込む場合は貼付欄に貼付せずに「一括申請内訳書」に振込明細等を貼付して下さい。

受検申請書記入例(左票)

職種・作業、職種番号、作業番号
 職種一覧表に記載されている通りに記入して下さい。

個人情報の開示 各項目に承諾しない場合は✓を入れて下さい。
 講習会は別組織の団体からの案内であり、全ての職種で実施している
 わけではありません。

★個人情報の第3者への提供について承諾しない場合は
に✓印を入れて下さい。

- 講習会等を実施する関係団体に
 氏名、住所、電話番号、勤務先を知らせること 承諾しません
- 滋賀県職業能力開発協会の機関誌に合格者の氏名等を掲載すること 承諾しません
- とりまとめ事業所等に合否結果を通知すること 承諾しません

1級技能検定受検申請書

技能検定を受けたいので申請します。

滋賀県知事様

※受検案内を読んで太枠内を記入して下さい。

(0) 検種コード		記入日 令和0年 4月 1日			技能士 番号	
検定職種	機械加工	職種 番号	006	受検区分(左側の数字を○で囲む)		
作業名	数値制御旋盤	作業 番号	010	① (A甲) 実技・学科とも受検	合格 年月日	
フリガナ	ナンゴウ	タロウ		② (A乙) 学科のみ受検 (実技免除なし)	受検 番号	
氏名	姓 南郷	名 太郎		③ (A丙) 実技のみ受検 (学科免除なし)	ゼッケン 番号	
生年月日	昭和・平成	57年 3月 3日	性別	男	TEL	077 - 533 - 0850
住所	〒520-0850 滋賀県 大津市 南郷S-2-14 職能マンション302号室					
学歴	学校名	学科	所在地	在学期間	区別に○	
	最終 南郷大学	機械工学科	大津市南郷〇〇〇	H12年 4月~H15年 8月 年数 (3年 4月)	卒業 (中退)	
訓練歴	訓練施設名	訓練科	所在地	訓練期間	区別に○	
				年 月 ~ 年 月 年数 (年 月)	修了・見込・中退	
職歴	事業所名	地位・職名	所在地	在職期間	職務内容	
	最新のものから 南郷工業株式会社	班長	大津市瀬田川〇〇〇	H28年 4月 ~ 年 月 年数 (5年 4月)	職種に関する内容を記載 機械加工	
技能検定合格状況	等級	職種	作業	合格年月日	合格番号	資格判定
(下位級合格による実務経験 年数の短縮が必要な場合のみ記入) コピーの添付必要	2級	機械加工	数値制御旋盤 作業	令和0年 9月 28日	18-1-006- 25-0000号	※ 実技 ※ 学科 ※
試験免除 証明書類のコピー添付必要	該当する免除項目の <input type="checkbox"/> に✓印を入れ、合格等の年月日・番号を記入して下さい。 合格等が証明できるコピーを添付すること。					
実技	<input type="checkbox"/> 実技試験合格通知 級 (作業) 年 月 日 号 <input type="checkbox"/> その他 () (技能証、検定委員歴、等)					
学科	<input checked="" type="checkbox"/> 学科試験合格通知 1級 (数値制御旋盤作業) R1年 10月 2日 滋賀0000号 <input type="checkbox"/> 技能検定合格証書 級 (作業) 年 月 日 号 <input type="checkbox"/> その他 () (技能照査、指導員免許、技能士コース、建築士、製菓衛生師、等)					

氏名の記載
 本人確認書類(写)と
 同じように記入して
 下さい。

住所
 現在の住所を記入して下さい。
 受検票等の送付先になります。
 免許証に記載されている住所
 と一致する必要はありません。

学歴
 中退・大学院卒・定時制卒の
 記入の場合は前歴の卒業歴を
 記入して下さい。

職歴
 受検資格に関係のある職歴の
 みを記入して下さい。
 実務経験は合算可能なので、
 複数の職歴がある場合は最新
 のものから記入して下さい。
 書ききれない場合は任意の用
 紙に記入し裏面に貼付して下
 さい。

合格状況及び試験の免除
 該当する場合は、該当する項
 目を記入し、必要な証明書類
 のコピーを添付して下さい。

本人確認書類
 免許証等のコピーを貼り付け
 して下さい。全員必須です。
 収まらない場合は、裏面に貼
 付して下さい。

本人確認書類貼付欄(全員必須)

- 運転免許証または個人番号カード(通知カードは不可)
 (個人番号が記載されている箇所は黒塗りすること)
 その他の日本の官公庁が発行した身分証明書
- 特別永住者証明書または在留カード
- 健康保険資格確認書(健康保険被保険者証は不可)
- 生徒手帳または学生証
 (氏名及び生年月日が確認できるものに限る)
- 外国政府が発行した旅券(写真欄及び日本国査証欄)

裏面に貼付して下さい。

※訂正は修正ペン不可。訂正箇所には二重線を引き、訂正して下さい。
 ※申請手続、手数料振込を事業所で行う場合に記入。

とりまとめ 所属事業所名	
部署担当者	
所在地	〒
TEL	- -
FAX	- -

とりまとめ事業所記入欄
 事業所単位で申込む場合は、記入して下さい。
 記入されると、申請に関する内容確認はこちら
 の連絡先に行います。

記入上の注意

- ボールペン等で記入して下さい。
 (鉛筆、消えるインクのボールペンは不可)
- ※印の欄は記入しないで下さい。
- 修正テープ及び修正ペンの使用不可
 訂正時は二重線を引き修正して下さい。

④中退・大学院卒及び定時制卒の場合は前歴も記入

受検申請書記入例(右票)

令和7年度前期より様式変更

記入例：受検区分C(実技受検・学科免除)の場合

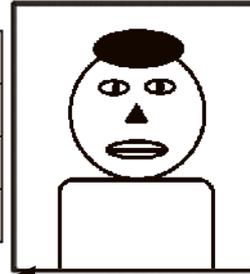
【右票】

1級 実技試験写真票

実技試験を受ける方は記入してください。

検定職種	機械加工
作業名	数値制御旋盤
フリガナ	ナンゴウ タロウ
氏名	南郷 太郎
生年月日	昭和 平成 57年 3月 3日
住所	〒520-0850 大津市南郷5-2-14 302号
試験当日 電話連絡先	090-1234-5678
所属事業所	南郷工業(株)滋賀工場製造部
連絡先	077-123-4567

受検番号	
※	
ゼッケン番号	
※	



試験会場	※
受検	
※	
手数料	

写真票

受ける試験ごとに記入して下さい。

- ・実技・学科両方受検の場合は、両方の記入・写真貼付が必要です。
- ・実技・学科両方免除の場合、写真は不要です。
- ・実技試験のみ場合は、実技試験写真票のみ記入・写真貼付が必要です。(学科のみは学科試験写真票のみ)

- ・6ヶ月以内に撮影したもの
- ・タテ(4cm)×ヨコ(3cm)程度
- ・裏面に級・作業・氏名を書き添えて全面ノリ付けで貼付してください。

1級 学科試験写真票

学科試験を受ける方は記入してください。

検定職種	
作業名	
フリガナ	
氏名	
生年月日	昭和 平成 年 月 日
住所	〒 -
試験当日 電話連絡先	-
所属事業所	
連絡先	-

試験会場	※	
受検資格	免除判定	一部免除
※	※	※
手数料	※	

振込確認ができる書類

- 個別で振込む場合
左のように利用明細を貼付してください。
- 一括で振込む場合
左の欄には貼付せず、「一括申請内訳書」に貼付して下さい。

金融機関窓口やATMを利用する場合
利用明細のコピーを提出して下さい。

ネットバンキングの場合
振込完了画面を印刷したものを提出して下さい。

受検手数料 記入欄(申請者記入箇所)

受検区分を○で囲み、氏名・作業名を記入して下さい。該当する項目の□に✓印を入れて、合計手数料を記入して下さい。

1級	A甲 A丙 C	氏名	南郷 太郎
職種・作業名	機械加工	職種	数値制御旋盤 作業
□学科受検	3,100円		
☑実技受検	18,200円	実技手数料は受検案内の手数料フローチャートで確認して下さい。	
✓印を入れた 合計手数料(振込額) 【別途振込手数料が必要です。】	18,200 円		
振込区分	☑個別 この申請分のみ振込	□一括 複数名まとめて振込	

個別は右側に「振込確認書類」の貼付が必要
内訳書の提出が必要
受検手数料は非課税です。
振込手数料は課税対象です。
振込手数料は受検者負担となります。

受検手数料 記入欄
必要事項を記入し、申請に必要な受検手数料を記入して下さい。
振込区分に✓を入れて下さい。

振込明細、ネットバンキング利用画面いずれの場合でも振込金額、振込日、依頼人、受取人(当協会指定口座)が確認できる部分を提出して下さい。
依頼人が受検申請者である必要はありません。また、取引後の残高等は黒塗りで問題ありません。

ご利用明細(例)

毎度ありがとうございます。
お取引内容をお確かめのうえ、お持ち帰りください。

×××銀行		
取引銀行	取引店	口座番号
××××	××××	××××××××
取扱店	お取引日	時刻
×××××	02-10-××	××:××
お取引内容	お取引金額	手数料
振込	¥0,000,000	¥660
お取引後の残高(円)		
お取引後の残高(円)		
お受取人	関西みらい銀行 南郷支店 普通 340405 カクショクキョウノクヨクイハツキョクイ	
ご依頼人	ショクノウカウ	

表2

技能検定の受検に必要な実務経験年数一覧

(実務経験年数は技能検定職種に関する内容に限る。)(単位：年)

受検対象者(※1)	特級	1級		2級		3級	単一 等級
	1級 合格後	2級 合格後	3級 合格後	2級	3級 合格後	3級 (※6)	
実務経験のみ		7			2	0 ※7	3
● 専門学校卒業(●)(※2) 専修学校(大学入学資格付与課程に限る)卒業		6			0	0	1
短大・高専・高校専攻科卒業(●)(※2) 専修学校(大学編入資格付与課程に限る)卒業		5			0	0	0
大学卒業(●)(※2) 専修学校(大学院入学資格付与課程に限る)卒業		4			0	0	0
● 専門学校(●)(※3)又は各種学校卒業(厚生労働大臣が指定したものに限る。)	★5	800h以上	★2	★4	0	0 ※8	1
		1600h以上	5		0	★0 0 ※8	1
		3200h以上	4		0	0 ※8	0
短期課程の普通職業訓練修了(※4、※9)		700h以上	6		0	0 ※5	1
普通課程の普通職業訓練修了(※4、※9)		2800h未満	5		0	0	1
		2800h以上	4		0	0	0
専門課程又は特定専門課程の高度職業訓練修了(※4、※9)		3	★1	★2	0	0	0
応用課程又は特定応用課程の高度職業訓練修了(※9)			1		0	0	0
指導員養成課程の指導員養成訓練修了(※9)			1		0	0	0
職業訓練指導員免許取得			★1		-	-	★0
高度養成課程の指導員訓練修了(※9)			0		-	-	★0

● 学校卒業等による年数の短縮は表4の検定職種に関するものに限る

- ※1 技能検定職種に関する学科、訓練科又は免許職種に限る。
- ※2 学校教育法による大学、短期大学校又は高等学校と同等以上と認められる外国の学校又は他法令学校を卒業した者は学校教育法に基づくそれぞれのものに準ずる。
- ※3 大学入学資格付与課程、大学編入資格付与課程及び大学院入学資格付与課程の専修学校を除く。
- ※4 職業訓練法の一部を改正する法律(昭和53年法律第40号)の施行前に、改正前の職業訓練法に基づく高等訓練課程又は特別高等訓練課程の養成訓練を修了した者は、それぞれ改正後の職業能力開発促進法に基づく普通課程の普通職業訓練又は専門課程の高度職業訓練を修了したものとみなす。また、職業能力開発促進法の一部を改正する法律(平成4年法律第67号)の施行前に、改正前の職業能力開発促進法に基づく専門課程の養成訓練を修了した者は、専門課程の高度職業訓練を修了したものとみなし、改正前の職業能力開発促進法に基づく普通課程の養成訓練又は職業転換課程の能力再開訓練(いずれも800時間以上のものに限る。)を修了した者はそれぞれ改正後の職業能力開発促進法に基づく普通課程又は短期課程の普通職業訓練を修了したものとみなす。
- ※5 総訓練時間が700時間未満のものを含む。
- ※6 3級技能検定については、上記のほか、検定職種に関する学科に在学する者、検定職種に関する訓練科において職業訓練を受けている者等及び工業高等学校に在学する者等であって、かつ、工業高等学校の教員等による検定職種に係る講習を受講し、当該講習の責任者から技能検定試験受検に際して安全衛生上の問題等がないと判定された者も受検できる。
- ※7 検定職種に関し実務の経験を有する者について、受検資格を認めることとする。
- ※8 当該学校が厚生労働大臣の指定を受けたものであるか否かにかかわらず受検資格を付与する。
- ※9 職業能力開発促進法第92条に規定する職業訓練又は指導員訓練に準ずる訓練の修了者においても、修了した職業訓練又は指導員訓練の訓練過程に応じ、受検資格を付与する。
- ※10 ★印の経験年数で受検される方は、同一検定職種の技能検定合格証書又は職業訓練指導員免許証(写)を添付して下さい。

表3

免除資格一覧表

試験免除の対象者と免除される試験の区分は次表のとおりです。なお、免除される資格があっても、受検申請の際に試験免除の手続き（試験免除事項の記載及び書類の添付）がない場合は免除の取扱いはいたしません。また後日免除資格のあることを申し出られても免除はできません。

1. 技能検定関係（同一検定職種に限る。）

対 象 者			技能検定試験の免除の範囲					備 考
			特 級	1 級	2 級	3 級	単一等級	
特 級	実技試験のみ合格		実技の全部	-	-	-	-	※1
	学科試験のみ合格		学科の全部	-	-	-	-	※1
1 級	技能検定合格		-	学科の全部			-	
	実技試験のみ合格		-	実技の全部			-	※2
	学科試験のみ合格		-	学科の全部			-	※2
2 級	技能検定合格		-	-	学科の全部		-	
	実技試験のみ合格		-	-	実技の全部		-	※2
	学科試験のみ合格		-	-	学科の全部		-	※2
3 級	技能検定合格		-	-	-	学科の全部	-	
	実技試験のみ合格		-	-	-	実技の全部	-	※2
	学科試験のみ合格		-	-	-	学科の全部	-	※2
単 一 等 級	技能検定合格		-	-	-	-	学科の全部	
	実技試験のみ合格		-	-	-	-	実技の全部	※2
	学科試験のみ合格		-	-	-	-	学科の全部	※2

※1 実技試験又は学科試験に合格した日から5年間（最終年にあつては年度終りまで）有効。

※2 選択科目のある検定職種の場合には、同一の選択科目に限る。

2. 職業能力開発行政関係（検定職種に関する訓練科又は免許職種に限る。）

対 象 者			技能検定試験の免除の範囲					備 考
			特 級	1 級	2 級	3 級	単一等級	
指導員試験合格又は指導員免許取得			-	学科の全部				
応用課程又は特定 応用課程の高度職 業訓練における技 能照査合格	技能照査合格後 実務経験年数	5年	-	学科の全部				
		2年	-	学科の全部				
	-	-	-	学科の全部				
専門課程又は特定 専門課程の高度職 業訓練における技 能照査合格	技能照査合格後 実務経験年数	4年	-	学科の全部				
		1年	-	-	学科の全部			
	-	-	-	-	学科の全部		-	
普通課程の普通 職業訓練におけ る技能照査合 格	技能照査合格後実務経験年数 2年(2,800時間以上なら1年)		-	-	学科の全部			
	-	-	-	-	学科の全部		-	
短期課程の普通 職業訓練につい て修了時試験合 格かつ修了	1級技能士コース		-	学科の全部				-
	2級技能士コース		-	-	学科の全部			-
	単一等級技能士コース		-	-	-	-	学科の全部	
中央技能検定委員2年以上			-	実技の全部及び学科の全部				
都道府県技能検定委員2年以上			-	実技の全部				
技能五輪全国大会における技能証			-	実技の全部	-	-	実技の全部	
技能五輪地方大会における技能証			-	-	実技の全部		-	※3
全 国 障 害 者 技能競技大会	実技部門の技能証		-	-	実技の全部		-	※3
	学科部門の技能証		-	-	学科の全部		-	※3

※3 有効期限が過ぎた技能証であっても有効。

3. 他法令等関係

対 象 者	技能検定試験の免除の範囲					備考	
	特級	1級	2級	3級	単一等級		
製菓衛生師法による製菓衛生師試験に合格した者	-	学科試験の一部を免除 菓子製造職種に係る学科試験のうち食品一般及び菓子一般		-	-		
建築士法による1級建築士試験若しくは2級建築士試験に合格した者又は1級建築士若しくは2級建築士の免許を受けた者	-	建築大工職種及びブロック建築職種に係る学科試験の全部		-	枠組壁建築職種に係る学科試験の全部		
建築士法による木造建築士試験に合格した者又は木造建築士の免許を受けた者	-	建築大工職種に係る学科試験の全部		-	枠組壁建築職種に係る学科試験の全部		
東京商工会議所が行う和裁の技能検定	1級の技能検定	-	和裁職種に係る実技試験の全部		-	-	
	2級の技能検定	-	-	和裁職種に係る実技試験の全部	-	-	

表4

技能検定職種に関する学科一覧

検 定 職 種	検定職種に関する学科	検 定 職 種	検定職種に関する学科
園 芸 装 飾	園 芸 科	印 刷	印 刷 科
造 園	造 園 科	プ ラ ス チ ッ ク 成 形	機 械 科・電 気 科・工 業 化 学 科
鑄 造	や 金 科・金 属 工 学 科・機 械 科	強 化 プ ラ ス チ ッ ク 成 形	工 業 化 学 科
金 属 熱 処 理	や 金 科・金 属 工 学 科・機 械 科	石 材 施 工	建 築 科・土 木 科
機 械 加 工	機 械 科	と び	建 築 科
非 接 触 除 去 加 工	機 械 科	左 官	建 築 科
金 属 プ レ ス 加 工	機 械 科	タ イ ル 張 り	建 築 科
鉄 工	金 属 工 学 科・機 械 科 造 船 科・建 築 科・土 木 科	量 製 作	
		防 水 施 工	建 築 科
建 築 板 金	機 械 科・建 築 科	内 装 仕 上 げ 施 工	建 築 科
工 場 板 金	機 械 科	熱 絶 縁 施 工	設 備 科・造 船 科・工 業 化 学 科 化 学 工 学 科・建 築 科
仕 上 げ	機 械 科		
切 削 工 具 研 削	機 械 科・木 材 加 工 科	化 学 分 析	工 業 化 学 科・化 学 工 学 科 農 芸 化 学 科
ダ イ カ ス ト	や 金 科・金 属 工 学 科・機 械 科		
電 子 機 器 組 立 て	電 気 科・電 子 科	表 装	工 芸 科
電 気 機 器 組 立 て	電 気 科・電 子 科	塗 装	建 築 科・工 芸 科・塗 装 科
機 械 検 査	機 械 科	産 業 洗 浄	機 械 科・工 業 化 学 科 土 木 科・金 属 工 学 科
建 設 機 械 整 備	機 械 科		
婦 人 子 供 服 製 造	被 服 科	フ ラ ワ ー 装 飾	園 芸 科
建 具 製 作	建 築 科・工 芸 科	建 築 大 工	建 築 科・大 工 科

※上記検定職種を受検する場合は、対応する学科、もしくはそれに準ずる学科の高校・短大・大学等を卒業した場合の受検資格となります。

表5

学科試験免除に係る技能検定職種の訓練科一覧

職種名	指導員免許	技能照査 (普通課程の普通 職業訓練)	技能士コース (1・2級・単一) (短期課程の普通 職業訓練)	職種名	指導員免許	技能照査 (普通課程の普通 職業訓練)	技能士コース (1・2級・単一) (短期課程の普通 職業訓練)
園芸装飾	園芸科	園芸サービス系園芸科	園芸装飾科	建設機械整備	建設機械科	機械整備系 建設機械整備科	建設機械整備科
造園	造園科 森林環境保全科	園芸サービス系造園科	造園科	婦人子供 服製造	洋裁科	アパレル系洋裁科	婦人子供服製造科
鑄造	鑄造科	金属材料系鑄造科	鑄造科	建具製作	木工科	木材加工系木工科	建具製作科
金属熱処理	熱処理科	金属材料系熱処理科	金属熱処理科	印刷	製版・印刷科	印刷・製本系製版科 印刷・製本系印刷科	印刷科
機械加工	機械科	機械系機械加工科 機械系精密加工科 機械系機械技術科 メカトロニクス系 メカトロニクス科	機械加工科	プラスチック 成形	プラスチック 製品科	プラスチック系プラス チック製品成形科	プラスチック成形科
非接触除去加工	機械科	機械系精密加工科 機械系機械技術科	非接触除去加工科	強化プラス チック成形	プラスチック 製品科	—	強化プラスチック 成形科
金属プレス加工	塑性加工科	金属加工系塑性加工科	金属プレス加工科	石材施工	石材科	石材系石材加工科	石材施工科
鉄工	塑性加工科 構造物 鉄工科 鉄道車両科 造船科	金属加工系塑性加工科 金属加工系構造物鉄工科 鉄道車両系鉄道車両製造科 船舶系造船科 建築施工系プレハブ建築科	鉄工科	とび	とび科	建築施工系とび科	とび科
建築板金	塑性加工科 建築板金科	金属加工系塑性加工科 建築外装系建築板金科	建築板金科	左官	左官・ タイル科	建築仕上系左官・ タイル施工科	左官科
工場板金	塑性加工科	金属加工系 塑性加工科	工場板金科	タイル張り	左官・ タイル科	建築仕上系左官・ タイル施工科	タイル張り科
仕上げ	機械科	機械系機械加工科 機械系精密加工科 機械系機械技術科	仕上げ科	畳製作	畳科	建築内装系畳科	畳製作科
切削工具研削	機械科 製材機械科	機械系機械加工科 機械系精密加工科 機械系機械技術科 製材機械系 製材機械整備科	切削工具研削科	防水施工	防水科	建築外装系防水施工科	防水施工科
ダイカスト	鑄造科	金属材料系鑄造科	ダイカスト科	内装仕上げ 施工	床仕上げ科 インテリア科	建築内装系 床仕上施工科 建築内装系 インテリア・サービス科	内装仕上げ施工科
電子機器 組立て	電子科	電気・電子系製造 設備科、電気・電 子系電子機器科、 通信系電気通信科	電子機器組立て科	熱絶縁施工	熱絶縁科	建築仕上系 熱絶縁施工科	熱絶縁施工科
電気機器 組立て	電気科 メカトロニ クス科	電気・電子系 電気機器科 電力系電気工事科	電気機器組立て科	化学分析	化学分析科 公害検査科	化学系化学分析科 化学系公害検査科	化学分析科
機械検査	機械科	機械系機械加工科 機械系精密加工科 機械系機械技術科	機械検査科	表装	インテリア科 表具科	建築内装系 インテリア・サービス科 建築内装系表具科	表装科
				塗装	塗装科	塗装系金属塗装科 塗装系木工塗装科 塗装系建築塗装科	塗装科
				産業洗浄	—	—	産業洗浄科
				フラワー装飾	フラワー装飾科	装飾系フラワー装飾科	フラワー装飾科
				建築大工	建築科 枠組壁建築科	建築施工系木造建築科 建築施工系プレハブ建築科	建築大工科

表6

標準卒業年早見表(参考)

生年	中学	高校	短大	大学	生年	中学	高校	短大	大学
1967 昭和42	1983 昭和58	1986 昭和61	1988 昭和63	1990 平成2年	1989 平成元年(S64)	2005 平成17年	2008 平成20年	2010 平成22年	2012 平成24年
1968 昭和43	1984 昭和59	1987 昭和62	1989 平成元年	1991 平成3年	1990 平成2	2006 平成18年	2009 平成21年	2011 平成23年	2013 平成25年
1969 昭和44	1985 昭和60	1988 昭和63	1990 平成2年	1992 平成4年	1991 平成3	2007 平成19年	2010 平成22年	2012 平成24年	2014 平成26年
1970 昭和45	1986 昭和61	1989 平成元年	1991 平成3年	1993 平成5年	1992 平成4	2008 平成20年	2011 平成23年	2013 平成25年	2015 平成27年
1971 昭和46	1987 昭和62	1990 平成2年	1992 平成4年	1994 平成6年	1993 平成5	2009 平成21年	2012 平成24年	2014 平成26年	2016 平成28年
1972 昭和47	1988 昭和63	1991 平成3年	1993 平成5年	1995 平成7年	1994 平成6	2010 平成22年	2013 平成25年	2015 平成27年	2017 平成29年
1973 昭和48	1989 平成元年	1992 平成4年	1994 平成6年	1996 平成8年	1995 平成7	2011 平成23年	2014 平成26年	2016 平成28年	2018 平成30年
1974 昭和49	1990 平成2年	1993 平成5年	1995 平成7年	1997 平成9年	1996 平成8	2012 平成24年	2015 平成27年	2017 平成29年	2019 平成31年
1975 昭和50	1991 平成3年	1994 平成6年	1996 平成8年	1998 平成10年	1997 平成9	2013 平成25年	2016 平成28年	2018 平成30年	2020 令和2年
1976 昭和51	1992 平成4年	1995 平成7年	1997 平成9年	1999 平成11年	1998 平成10	2014 平成26年	2017 平成29年	2019 平成31年	2021 令和3年
1977 昭和52	1993 平成5年	1996 平成8年	1998 平成10年	2000 平成12年	1999 平成11	2015 平成27年	2018 平成30年	2020 令和2年	2022 令和4年
1978 昭和53	1994 平成6年	1997 平成9年	1999 平成11年	2001 平成13年	2000 平成12	2016 平成28年	2019 平成31年	2021 令和3年	2023 令和5年
1979 昭和54	1995 平成7年	1998 平成10年	2000 平成12年	2002 平成14年	2001 平成13	2017 平成29年	2020 令和2年	2022 令和4年	2024 令和6年
1980 昭和55	1996 平成8年	1999 平成11年	2001 平成13年	2003 平成15年	2002 平成14	2018 平成30年	2021 令和3年	2023 令和5年	2025 令和7年
1981 昭和56	1997 平成9年	2000 平成12年	2002 平成14年	2004 平成16年	2003 平成15	2019 平成31年	2022 令和4年	2024 令和6年	2026 令和8年
1982 昭和57	1998 平成10年	2001 平成13年	2003 平成15年	2005 平成17年	2004 平成16	2020 令和2年	2023 令和5年	2025 令和7年	2027 令和9年
1983 昭和58	1999 平成11年	2002 平成14年	2004 平成16年	2006 平成18年	2005 平成17	2021 令和3年	2024 令和6年	2026 令和8年	2028 令和10年
1984 昭和59	2000 平成12年	2003 平成15年	2005 平成17年	2007 平成19年	2006 平成18	2022 令和4年	2025 令和7年	2027 令和9年	2029 令和11年
1985 昭和60	2001 平成13年	2004 平成16年	2006 平成18年	2008 平成20年	2007 平成19	2023 令和5年	2026 令和8年	2028 令和10年	2030 令和12年
1986 昭和61	2002 平成14年	2005 平成17年	2007 平成19年	2009 平成21年	2008 平成20	2024 令和6年	2027 令和9年	2029 令和11年	2031 令和13年
1987 昭和62	2003 平成15年	2006 平成18年	2008 平成20年	2010 平成22年	2009 平成21	2025 令和7年	2028 令和10年	2030 令和12年	2032 令和14年
1988 昭和63	2004 平成16年	2007 平成19年	2009 平成21年	2011 平成23年	2010 平成22	2026 令和8年	2029 令和11年	2031 令和13年	2033 令和15年

上記表は、通常に卒業された場合のものです。

例) 昭和42年5月生まれの方は、昭和58年3月中学卒業 昭和61年3月高校卒業となります
昭和42年2月(早)生まれの方は、昭和57年3月中学卒業 昭和60年3月高校卒業となります

*早生まれ(1月1日~4月1日)の方は前年(1年をひく)になります。

技能検定受検 一括申請内訳書

令和8年度前期技能検定受検申請書を次のとおり提出します。

事業所(団体)	:	
事業所(団体)住所	:	〒
担当部署・担当者名	:	
電話	:	
FAX	:	
メールアドレス	:	

合否結果一覧送付の希望の有無

※申請書の個人情報の第三者への情報提供について承諾しないに✓された方は除きます。

希望する 希望しない

その他（取りまとめ企業（団体）と違う企業等がある場合はその事業書名をご記入下さい。

()

一括申請される受検者の内訳を記入して下さい。書ききれない場合はコピーして下さい。

また、別に内訳表を作成されている場合は、その表の添付でも可能です。

受検区分一覧

A甲：実技試験・学科試験 両方受検

A乙：学科試験のみ受検（実技試験は受けない）

A丙：実技試験のみ受検（学科試験は受けない）

B：学科試験を受検（実技試験は免除）

C：実技試験を受検（学科試験は免除）

D：実技試験・学科試験 両方免除

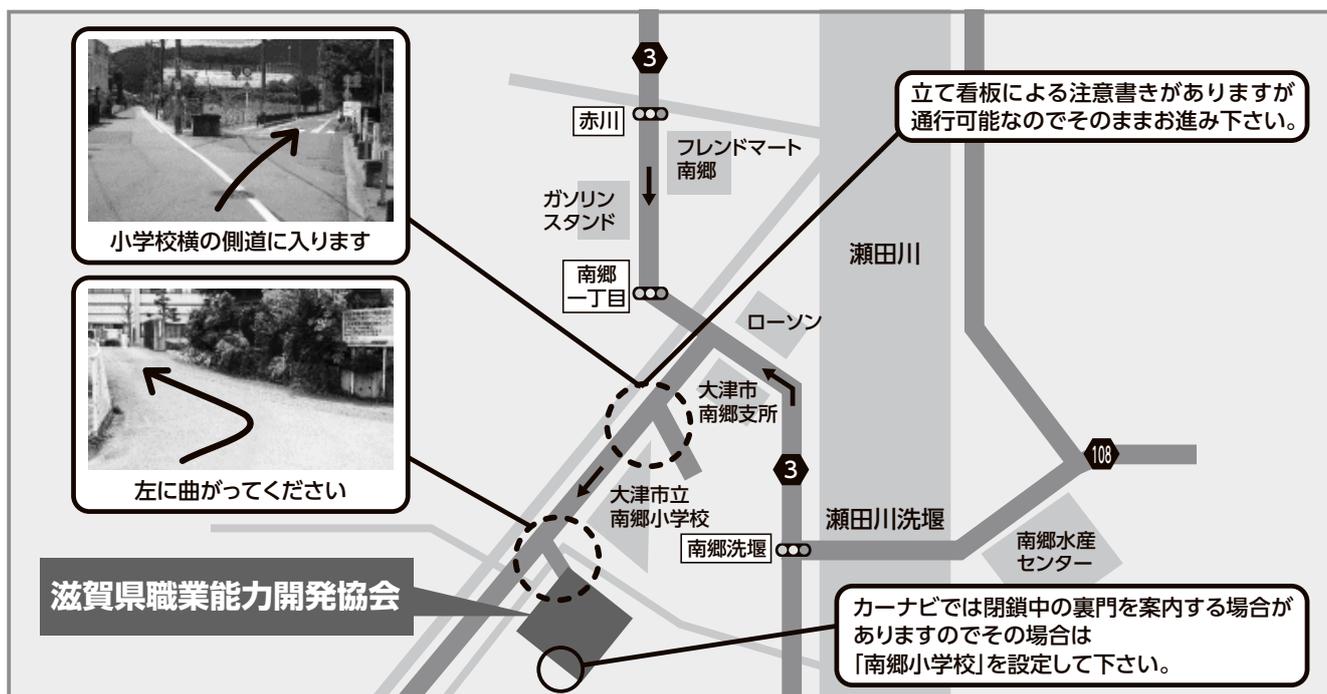
NO	作業名	等級	受検区分					氏名	学科 手数料	実技 手数料	合計 金額	備考	
			A甲	A乙	A丙	B	C						D
記入例	普通旋盤作業	1	A甲 <input checked="" type="checkbox"/>	A乙 <input type="checkbox"/>	A丙 <input type="checkbox"/>	B <input type="checkbox"/>	C <input type="checkbox"/>	D <input type="checkbox"/>	南郷 太郎	3,100円	18,200円	21,300円	
1	作業		A甲 <input type="checkbox"/>	A乙 <input type="checkbox"/>	A丙 <input type="checkbox"/>	B <input type="checkbox"/>	C <input type="checkbox"/>	D <input type="checkbox"/>					
2	作業		A甲 <input type="checkbox"/>	A乙 <input type="checkbox"/>	A丙 <input type="checkbox"/>	B <input type="checkbox"/>	C <input type="checkbox"/>	D <input type="checkbox"/>					
3	作業		A甲 <input type="checkbox"/>	A乙 <input type="checkbox"/>	A丙 <input type="checkbox"/>	B <input type="checkbox"/>	C <input type="checkbox"/>	D <input type="checkbox"/>					
4	作業		A甲 <input type="checkbox"/>	A乙 <input type="checkbox"/>	A丙 <input type="checkbox"/>	B <input type="checkbox"/>	C <input type="checkbox"/>	D <input type="checkbox"/>					
5	作業		A甲 <input type="checkbox"/>	A乙 <input type="checkbox"/>	A丙 <input type="checkbox"/>	B <input type="checkbox"/>	C <input type="checkbox"/>	D <input type="checkbox"/>					
6	作業		A甲 <input type="checkbox"/>	A乙 <input type="checkbox"/>	A丙 <input type="checkbox"/>	B <input type="checkbox"/>	C <input type="checkbox"/>	D <input type="checkbox"/>					
7	作業		A甲 <input type="checkbox"/>	A乙 <input type="checkbox"/>	A丙 <input type="checkbox"/>	B <input type="checkbox"/>	C <input type="checkbox"/>	D <input type="checkbox"/>					
8	作業		A甲 <input type="checkbox"/>	A乙 <input type="checkbox"/>	A丙 <input type="checkbox"/>	B <input type="checkbox"/>	C <input type="checkbox"/>	D <input type="checkbox"/>					
9	作業		A甲 <input type="checkbox"/>	A乙 <input type="checkbox"/>	A丙 <input type="checkbox"/>	B <input type="checkbox"/>	C <input type="checkbox"/>	D <input type="checkbox"/>					
10	作業		A甲 <input type="checkbox"/>	A乙 <input type="checkbox"/>	A丙 <input type="checkbox"/>	B <input type="checkbox"/>	C <input type="checkbox"/>	D <input type="checkbox"/>					
金額合計									0円	0円	0円		

裏面に、振込が確認できる書類の貼付をお願いします。

（窓口やATMの利用明細のコピーまたはネットバンキングの振込明細画面の印刷）

受検案内等関係資料の交付先一覧

滋賀県職業能力開発協会	大津市南郷五丁目2-14 TEL 077-533-0850
滋賀県商工観光労働部 労働雇用政策課	大津市京町四丁目1-1 TEL 077-528-3755
滋賀県総務部総務事務・厚生課 南部総務経理係	草津市草津三丁目14-75 南部合同庁舎 3階 TEL 077-567-5402
滋賀県総務部総務事務・厚生課 甲賀総務経理係	甲賀市水口町水口6200 甲賀合同庁舎 3階 TEL 0748-63-6108
滋賀県総務部総務事務・厚生課 東近江総務経理係	東近江市八日市緑町7-23 東近江合同庁舎 3階 TEL 0748-22-7705
滋賀県総務部総務事務・厚生課 湖東総務経理係	彦根市元町4-1 湖東合同庁舎 2階 TEL 0749-27-2201
滋賀県総務部総務事務・厚生課 湖北総務経理係	長浜市平方町1152-2 湖北合同庁舎 3階 TEL 0749-65-6603
滋賀県総務部総務事務・厚生課 高島総務経理係	高島市今津町今津1758 高島合同庁舎 2階 TEL 0740-22-6012
滋賀県立高等技術専門校（米原校舎）	米原市岩脇411-1 TEL 0749-52-5300
滋賀県立高等技術専門校（草津校舎）	草津市青地町1093 TEL 077-564-3296
滋賀職業能力開発促進センター （ポリテクセンター滋賀）	大津市光が丘町3-13 TEL 077-537-1164
滋賀職業能力開発短期大学校 （滋賀職業能大）	近江八幡市古川町1414 TEL 0748-31-2260



滋賀県職業能力開発協会 案内図

滋賀県職業能力開発協会

〒520-0865 大津市南郷五丁目2-14

TEL 077-533-0850

FAX 077-537-1351

<https://shiga-nokaikyo.or.jp/>



滋賀県職業能力開発協会
ホームページ

◆交通案内◆

- JR石山駅から
京阪バス（新浜・大石・外畑行き）15分、
南郷一丁目下車 徒歩 5分
- 京阪電車石山・坂本線「石山寺」から
京阪バス（新浜・大石・外畑行き）7分、
南郷一丁目下車 徒歩 5分